

日本風景街道だより

2012年春 Vol. 19

全国で127の風景街道が登録

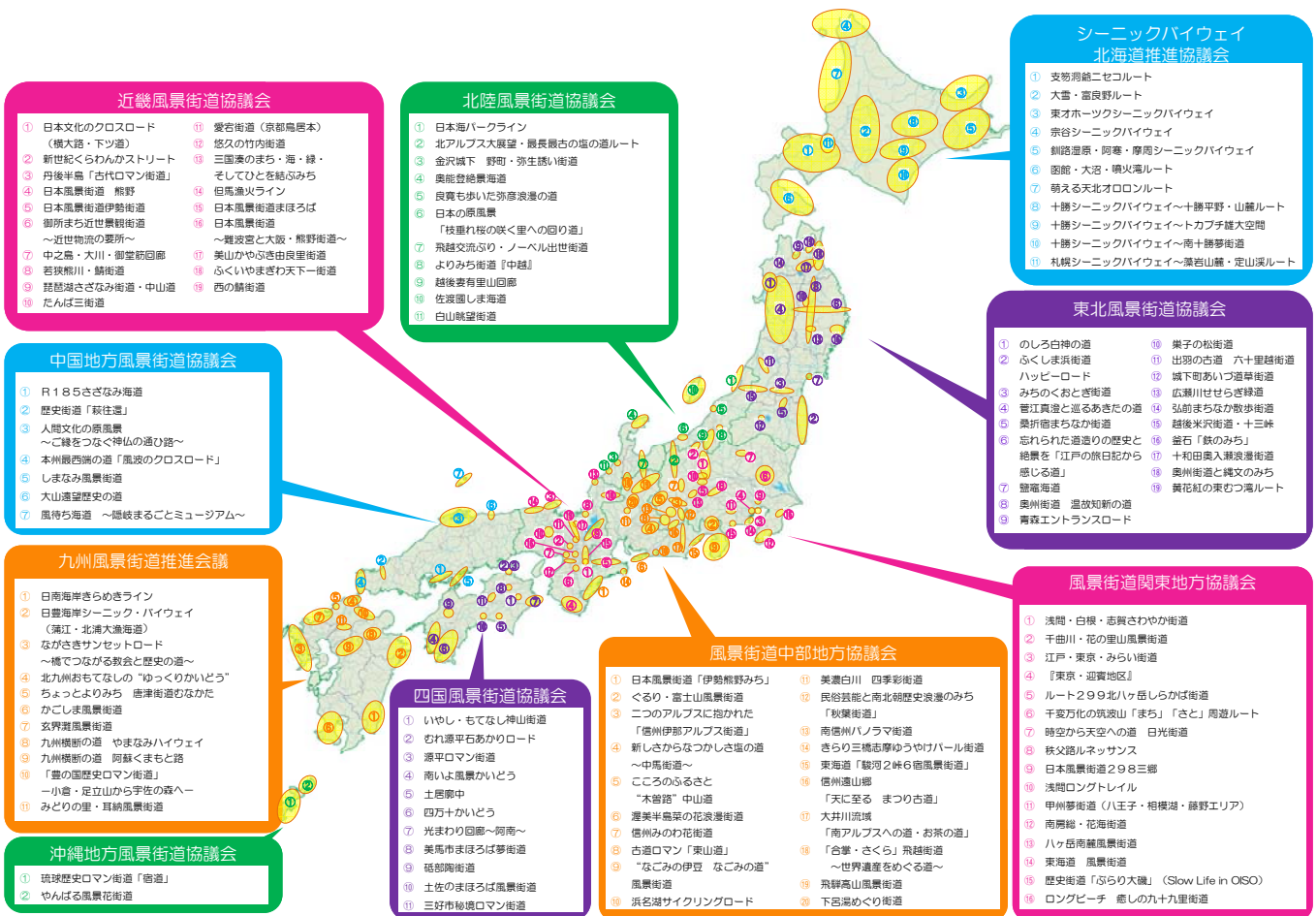
平成24年3月に九州地方で1ルートが新規登録されました。

これにより全国で127の風景街道が登録されました(平成24年3月末現在)。

九州地方の新規登録1ルートは、「みどりの里・耳納風景街道」です。

なお、登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



シリーズ: 各地域の風景街道の取り組み

夢を育む海と大地と清流のみち（十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道）

1. ルートの概要

「南十勝夢街道」は、北海道のほぼ中央部にある十勝平野の南に位置し、ルート内には地域のどこからでもその雄大な姿を望むことが出来る日高山脈が連なり、そこから流れ出る幾つもの清流が太平洋へと注ぐ景観を形成しています。その清流の途中には、日高山脈からの恵みを背景とした豊かな農村景観が広がり、これらの豊かな自然環境や農村景観はルートの特徴となっています。

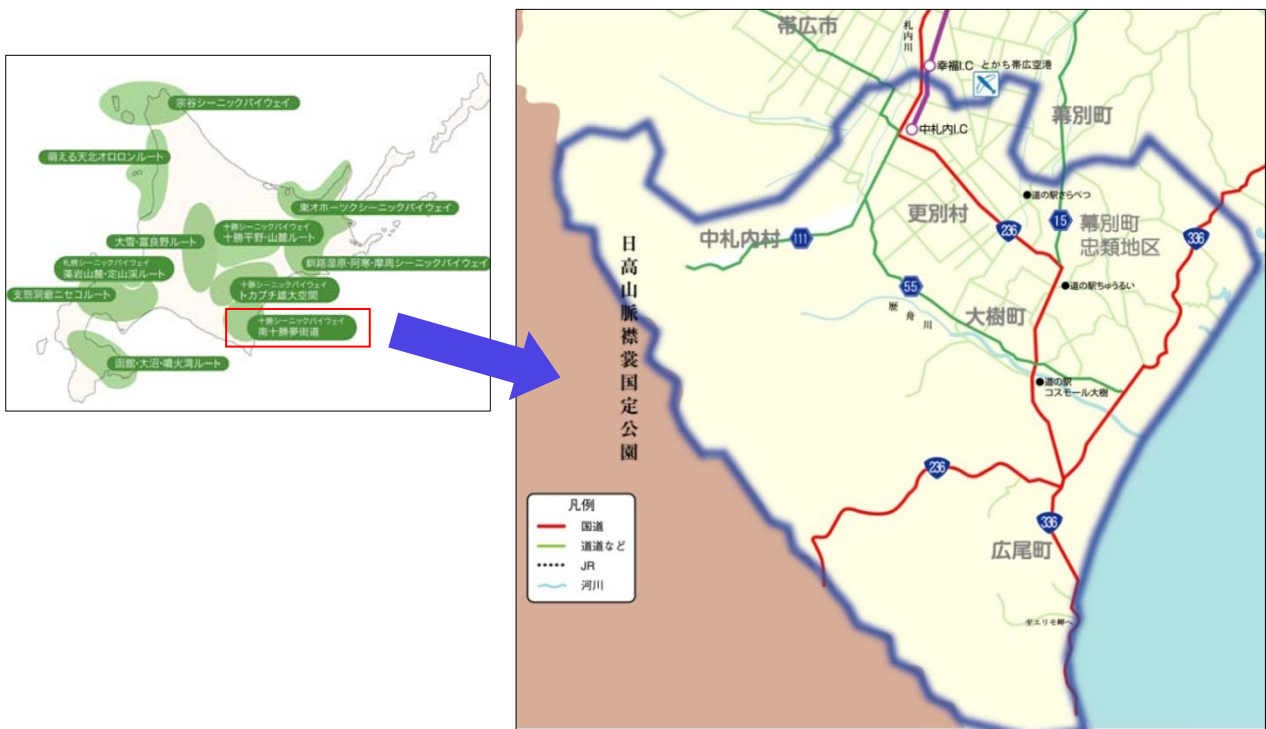


春の日高山脈(中札内村)



夏の日高山脈(更別村)

当ルートは、中札内村、更別村、幕別町忠類地区、大樹町及び広尾町の5町村を所管とする地域の37団体で構成され、「夢を育む海と大地と清流のみち」を活動のテーマとして、素晴らしい環境を大切にし、歴史と文化を活かしながら地域活性化を目指しています。そして、地域の子供たちに夢を与え、その子供たちが大人になってからも住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくりを目標としています。



「南十勝夢街道」の範囲図

2. これまでの活動

当ルートには、自然や農村景観をはじめ歴史や文化等の豊富な地域資源があり、これを守るとともに、地域の魅力向上のために、活動団体を中心とした花植活動、清掃活動を実施しています。さらに特徴的な活動として、フォトコンテストを実施し入賞作品をメインにしたカレンダーを制作販売し、この地区への訪れる機会を作るための活動や、景観の美しい場所にシーニックカフェを開き、ボランティアメンバーが、訪れる人に無料の飲み物、エリア情報、癒しの空間を提供する活動等を展開してきました。



南十勝夢街道 2012 カレンダー



シーニックカフェちゅうるい(幕別町忠類地区)

しかし、当ルートでは、これらの活動に対し、継続性や新たな視点・発想の導入が必要であると感じていました。そして、これらの活動を継続・発展させるためには、古くからの団体やメンバーからの世代交代を円滑に進める必要があると考えました。そこで、ルート活動のテーマである「夢を育む海と大地と清流のみち」実現のため、地域の子供達にシーニックバイウェイの思想を伝え、地域の事を子ども目線で考えることにより、子供達にとって夢ある地域づくりを目指した、「学校シーニックバイウェイ」(以下、学校SBW)の取り組みを地元忠類小学校の協力の基、開始することとしました。

3. 新たな取り組み

当ルートでは、学校SBWの定義を「ルートのメンバーが学校授業等の中で、子供達へSBWの思想を伝えながら、おもてなしの心を養うための諸活動」と考え、この学校SBWを展開することにしました。

【質問】
シーニックバイウェイって何？

“みち”でつながる
みんなの街を
・美しくする
・生き生きとさせる
・みりよく的にする
取り組み。

【質問】
なぜ、シーニックするの？

訪れる人から、
「忠類ってステキな街」
「また、来るね」と言わ
れたら、うれしいね。

学校SBWの授業資料(パワーポイント)

この学校SBWで最も重要となるのは、SBWの思想を伝える授業を行う事と考え、そのために地域の大人が子ども達へSBWの思想を伝え、どのような考えを持ち地域活動を行っているかを教えることで、子ども達の関心を引き出す事ができ、一層の理解が進み、その後の取り組みも円滑に進むと考えました。

具体的には、子ども達が地域のおすすめ情報を話し合い、その結果を地域資源としてマップ化しました。子ども達が考える地域のおすすめ情報は大人にとっても新たな地域資源発掘として役立ちます。また、子ども達にとっては、マップ化することにより今までやってきた成果が形として表れ、より一層理解が深まります。

さらに、マップを使用して自分の地域をPRし、地域活性化を目指すことも重要と考えました。他地域の同年代の子ども達が自分の住む地域を訪れた時に、作成したマップを元に地域を案内しPRする機会が得られることで、自分の住む地域への自慢や誇りを持つことができるからです。



学校SBW 授業風景(SBW思想の継承)



学校SBW 授業風景(マップ作成)



学校SBW 子ども達が考えたマップ

また、平成 23 年 12 月には、札幌の子ども達との交流会を実施しました。南十勝で作成した「子供たんけん夢マップ」を基に、南十勝ならではの施設を案内し、地元の子ども達とのふれあいを大切にしながら、学校SBWの活動を紹介しました。札幌の子ども達の満足度が高かったこと以上に、南十勝の子ども達の「おもてなしの心」が芽生えたことが、一番の成果であったと言えます。



交流会 航空宇宙公園見学(大樹町JAXA)



交流会 クリスマスキャンドル作り(広尾町サンタランド)

4. おわりに

当ルートでは、学校SBWが地域にSBWを浸透させ、新たな視点からの地域づくりになると考えています。平成 24 年 2 月、国土交通省北海道開発局が主催する「第 55 回(平成 23 年度)北海道開発技術研究発表会」において発表した「学校シーニックバイウェイの取り組みについてー南十勝夢街道の地域連携活動ー」の論文が北海道開発協会会長賞を受賞するなど、この活動を評価頂き、取り組みに手応えを感じているところです。今後も、当ルートでは学校SBWの活動を継続し、地域の子ども達に夢を与え、その子ども達が大人になってからも住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくりを行っていきたいと考えています。

< 執筆者 >

十勝シーニックバイウェイ「南十勝夢街道」事務局
幕別町商工会忠類支所 山崎 和夫

シリーズ:各地域の風景街道の取り組み

ぐるり・富士山風景街道（ぐるり・富士山風景街道アクションネットワーク）

1. ルートの概要

「ぐるり・富士山風景街道」は、その名の通り、山梨県と静岡県にまたがって富士山の周辺をぐるりと取り巻く道路とその周辺が対象地域です。国道でいえば、139号、469号、138号で、距離にして約110kmあり、富士山をたっぶり堪能できるルートです。

日本の象徴である富士山は、古より圧倒的な存在感のある信仰対象でもありましたが、現在では浅間神社などの文化観光、湖や高原のリゾート観光、登山・ゴルフ・キャンプ・サイクリングなどスポーツのメッカでもあります。また近年は外国からの観光客も多く、その景観があらためて評価されてもいます。

更に、昨今、富士山の世界文化遺産登録の活動が進められており、その観点からも景観向上が期待されています。



2. 朝霧地区におけるこれまでの活動

静岡県サイドで、富士山の西側に位置する富士宮市朝霧地区は、富士山の迫力ある眺望と牧場など高原景観が特徴の大変風光明媚な地域で、多くの観光客が訪れています。平成17年度より自治会や関係事業者、NPO、国・県・市などが参加した「朝霧地区景観形成ワークショップ会議」により、地区の景観向上にかかる活動を実施してきました。平成19年度に日本風景街道に登録されましたが、静岡県側では活発な活動が展開されている地域の一つです。

全体としては優れた景観を楽しめる朝霧地区ですが、場所によっては地域の風景や富士山の景観を阻害する看板が乱立しているところがあります。同会議で議論を重ねるなかで、不用看板の撤去や集約案内サイン設置における検討と活動が進められました。

平成17年度 景観資源調査、施策案検討

平成18年度 朝霧風景塾(ウォーキング)、朝霧ミニ道ステーション、景観創出流木伐採作戦、屋外広告物点検



- 平成 19 年度 屋外広告物長野視察、不用看板撤去、モデルウォーキング・サイクリング
- 平成 20 年度 不用看板撤去、みはらしホリソ社会実験（歩行者・自転車コースづくり）
- 平成 21 年度 不用看板撤去
- 平成 22 年度 不要看板撤去、集約案内サイン設置、プチメンテ活動



3. “富士山すっきりサイン実験”の活動

これらの活動をふまえ、平成 23 年度には朝霧地域全体での景観向上を図るべく、国と県の支援事業に応募しました。国は国土交通省道路局の社会実験、静岡県はくらし・環境部の新しい公共モデル事業です。幸いそれぞれ採択され、事業にとりかかることができました。



(1) 国土交通省道路局：社会実験

C地点において、集約案内サインを設置し、実験中は、既存の看板に覆いをかけました。あわせてガードレール(白色)をガードパイプ(茶色)に変更する事業もおこなわれ、“すっきり”とした印象になりました。

この看板の設置実験にあわせて、周辺の清掃を行う美化活動、通称プチメンテも行いました。

(2) 静岡県くらし・環境部：新しい公共モデル事業

B、G地点では、国の事業と同様、実験を実施しましたが、実験完了後も集約案内サインを存置し、恒設化することができました。既設看板も撤去され、たいへん“すっきり”した景観となりました。

(3) 評価

上記の3箇所について、2月中旬からの約1か月の実験期間中に、地区内の居住者、事業者など関係者、あるいは訪問者など51名にモニターを依頼し、評価をしていただきました。

従来の景観との比較で、現在のほうが良い・やや良いとされる方が90%を占め、景観上の効果が確認できました。但し表示内容について、わかりにくい・ややわかりにくいと答えた方が41%あり、文字の大きさ、全体の情報量などの課題が指摘されました。

このプロジェクトを実施するうえで、関係者のご理解・ご協力の大切さを改めて実感できました。また、設置位置が道路区域内外か、案内サインに民間施設が含まれるか、等々により、設置の難易性やクリアすべき課題が異なることなどを確認でき、貴重な成果と考えています。



4. 今後の展開

いずれにしても、今回の実験およびその後の恒設化において、この方式の集約案内サインの景観に対する大きな効果が確認できました。

折しも、当ルート沿いでは、昨今、富士山の世界文化遺産登録の機運が高まり、積極的な活動が展開されています。平成24年1月27日には、ユネスコ世界遺産センターに推薦書が提出されました。順調なら来年には登録を受ける予定とのことですが、構成資産とその周辺においてきちんとした環境・景観保全措置が求められるという課題があります。しかし、先行事例の平泉や白川郷もそうですが、観光的には多大な効果が生まれており、前向きな取り組みが求められるところです。

今年度以降、この朝霧方式の集約案内サインを、地区内はもとより、ぐるり・富士山風景街道ルート以外の地域においても、広まってくれるよう働きかけていければと思っています。

< 執筆者 >

ぐるり・富士山アクションネットワーク事務局
NPO地域づくりサポートネット 伊藤 光造

シリーズ：社会資本整備総合交付金の活用事例

「観光情報板・案内看板の設置、地域の清掃活動・植栽活動の支援」

ルート名：土居廓中（高知県安芸市）

1. 土居廓中の紹介

「土居廓中」は、高知県安芸市の住民と行政からなる「歴史と文化にふれる歩くみちづくり懇話会」が活動主体となって、平成19年11月に日本風景街道に登録されました。

「歴史と文化にふれる歩くみちづくり懇話会」では“歩いて地域の良さを見つけよう”を合い言葉に、歩くことを主体として、住民に地域の良さや誇りを再確認してもらい、愛着が持てる地域づくりを目指しています。

「土居廓中」には、安芸城趾や伝統的な武家屋敷など歴史的建造物が今も数多く残っています。明治20年頃に造られた野良時計や、三菱の創始者である岩崎弥太郎生家は、全国的にも有名な観光資源となっています。



(主な地域資源)



野良時計



岩崎弥太郎生家



安芸城趾



藩政時代の武家屋敷



ウバメ柵・土用竹の生垣

(活動内容)



あきのいきいきウォーキングの開催



懇話会の開催

2. 地域の課題と目標

安芸市は、野良時計や武家屋敷などの歴史的文化遺産と、三菱の創始者である岩崎弥太郎の生誕地として全国的にも有名で、一昨年の龍馬ブームもあり、多くの観光客が来訪しています。

しかしながら、主要な観光地が市内各地に点在しているうえ、観光地をつなぐ道路も交通量のわりに狭隘なものが多いため、目的地まで適切に誘導できる分かりやすい案内標識などを整備し、観光客に極カストレスを感じさせない周遊ルートを設定する必要がありました。



土居廓中案内マップ

3. 取組み内容

観光地へのアクセス強化のための周辺道路の整備を進めることにあわせて、観光地内の観光情報板や周遊時の移動の円滑化を図る案内標識などを設置し、観光客の利便性の向上を図りました。また、地域住民が自主的に行っている清掃活動や植栽活動を支援することで、周辺環境の保全に努め、観光産業の活性化を図りました。



観光標識の設置



清掃活動の支援(清掃用具購入)



観光情報板の設置



植栽の支援(花の種など購入)

4. 今後の展開

今後も、社会資本整備総合交付金を活用して周遊ルートの整備や、観光地へ快適に移動できる案内誘導対策に努め、観光客に満足してもらえる道路環境の整備を進めていきます。

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。
日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	畑山 朗	011-709-2311(代表) (内線 5845)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	宍戸 英雄	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	吉沢 仁	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	遠藤 正樹	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	服部 一宏	052-953-8171(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	田島 祐介	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	妹尾 圭人	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	渡辺 修身	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	鈴木 昭人	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	末光 勇次	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlif.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>